

第59期
事業
報告書

(平成17年4月1日から
平成18年3月31日まで)





■社名の由来■

会社の基本方針「社会に対する奉仕(SERVICE)と信頼(TRUST)を信条とし、製品については最高(SUPER TOP)を理念とする事」よりとったものであります。

 エステー化学株式会社

〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10
TEL. 03-5906-0731

 FSC C0COC1234
この事業報告書は、古紙パルプ
配合率100%再生紙を使用

 PRINTED WITH
SOYINK
この事業報告書は、環境に優しい植物性
大豆油インキを使用しております。

 空気をかえよう
エステー化学

連結

	第56期	第57期	第58期	第59期 (当期)
売上高 (百万円)	38,065	45,081	44,109	46,134
経常利益 (百万円)	3,055	2,750	3,260	2,640
当期純利益 (百万円)	1,431	1,451	1,823	987
純資産 (百万円)	26,048	26,692	27,449	27,860
総資産 (百万円)	34,732	36,268	36,959	37,905
1株当たり当期純利益金額 (円)	46.53	48.87	63.43	34.35

単体

	第56期	第57期	第58期	第59期 (当期)
売上高 (百万円)	36,748	43,250	42,396	44,331
経常利益 (百万円)	2,566	2,121	2,586	1,822
当期純利益 (百万円)	1,156	1,170	1,520	687
純資産 (百万円)	25,420	25,834	26,284	26,334
総資産 (百万円)	33,058	34,267	34,808	35,372
1株当たり当期純利益金額 (円)	37.51	39.31	52.91	23.91



代表執行役社長

鈴木 喬

日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。
株主の皆様へ弊社の近況ならびに今後の方向につきまして
ご報告申し上げます。

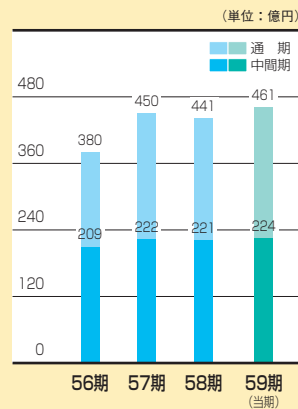
- ◎第三は、「カイロ」事業が好調に推移したことです。
カイロビジネスに参入して3年目ですが、初めの2年間は記録的な暖冬で苦戦をしいられました。この冬は一転、大寒波の到来により、大幅に売上を伸ばしました。
- ◎第四は、防虫剤カテゴリーが底打ちから拡大に転じ始めたことです。弊社は世界No.1の防虫剤カンパニーですが、「強いものを益々強く」磐石なものにしてまいります。
- ◎第五は、減損会計の適用により、7億円の特別損失を計上したことです。

〈今後の方向〉

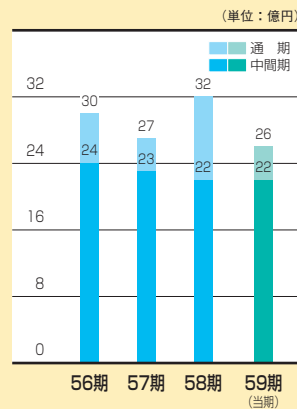
- ◎企業統治の面では、「経営の透明性」の更なる向上に向けて、この6月の株主総会で社外取締役を1名増員して5名に、社内取締役は従来通り3名にすることになりました。(弊社は既に2年前より「委員会設置会社」です。)
 - ◎配当金につきましては、前期まで年8円、10円、17円、22円と増配を重ねてまいりましたが、当期は前期同様、年22円の配当とさせていただきます。株主還元につきましては、引き続き積極的に取り組んでまいります。
 - ◎当期は「増収減益」と不本意な年でしたが、「世にないことをやる会社」を旗印に、今後も、株主の皆様のご期待に応えるよう、社員一同全力を尽くしてまいります。
- 一層のご愛顧、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成18年6月

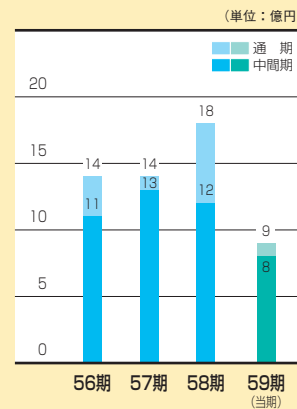
〈連結〉 売上高



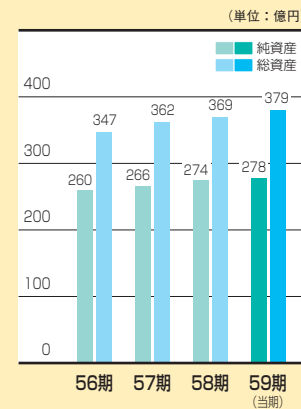
〈連結〉 経常利益



〈連結〉 当期純利益



〈連結〉 純資産・総資産



〈弊社の近況〉

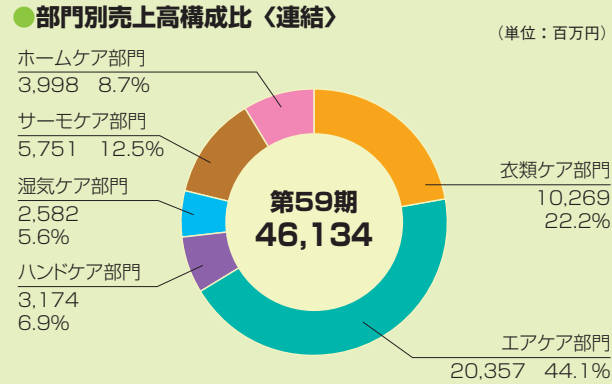
- ◎第一は、巨大外資のエアケア分野への参入に対して適切に対応したことです。昨秋、外資が日本市場を対象に本格的に参入してきました。膨大な宣伝投下による大攻勢を受けましたが、全社員の団結で巻き返しに成功しました。市場での競争力では優位に立ち始めていますが、反面、開発、生産、マーケティング面で、当初計画を上回るコスト負担が生じ、増収減益の一因となりました。
- ◎第二は、この競争の中で、新しく「エアウォッシュ」ブランドの発売と確立に成功したことです。

営業の経過および成果

当期の連結営業成績につきましては、厳冬の影響でカイロの売上が大きく伸びたこと、およびエアケア（消臭芳香剤）が新製品のヒットにより好調に推移したことに加え、衣類ケア（防虫剤）の市場規模縮小傾向が一段落してシェアおよび売上を伸ばしたことなどにより増収となりました。他方、利益面につきましては、コスト削減活動により原材料価格上昇分を吸収できた半面、相対的に粗利率の低い「消臭芳香剤の新製品およびカイロ」の構成比率が上昇したこと、また外資系企業のエアケア市場参入に対応すべく広告宣伝などのプロモーション費用を追加投入したことなどが影響し減益となりました。

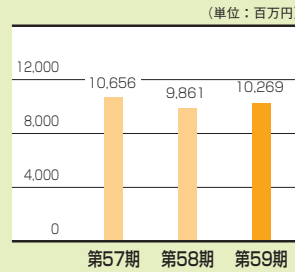
これらの結果、売上高は461億34百万円（前期比4.6%増）となり、営業利益は31億32百万円（前期比16.4%減）となりました。なお、当期より適用が義務付けられた固定資産の

減損会計基準により7億2百万円の特別損失を計上したことで当期純利益は9億87百万円（前期比45.8%減）となりました。



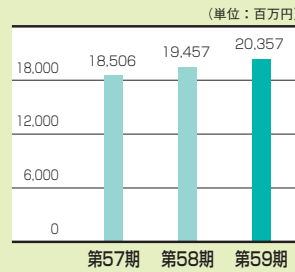
●衣類ケア（防虫剤）部門〈連結〉

衣類ケア（防虫剤）部門の売上高は、102億69百万円（前期比4.1%増）となりました。当部門につきましては、ここ数年の半年用から1年用へのシフトに伴う市場規模の縮小が一段落しつつある中、着実にシェアを伸ばし増収となりました。



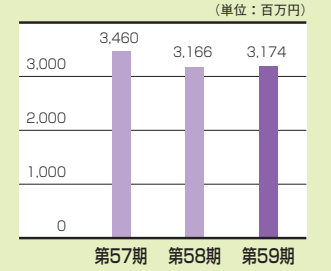
●エアケア（消臭芳香剤）部門〈連結〉

エアケア（消臭芳香剤）部門につきましては、特に、新製品「置くタイプのエアウォッシュ」がヒットした他、平成18年春発売の抗菌成分を強化した「置くタイプのエアウォッシュ トイレケア」も売上に寄与しました。また、既存品では主力ブランド「消臭力」が引き続き順調に推移し、売上高は203億57百万円（前期比4.6%増）と順調に増加しました。



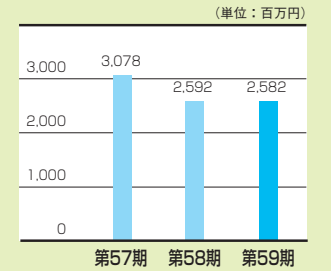
●ハンドケア（手袋）部門〈連結〉

ハンドケア（手袋）部門の売上高は、31億74百万円（前期比0.2%増）となりました。消耗家雑分野の共販会社、スリーエム・エステー販売(株)への出荷価格引下げがマイナスの影響となりましたが、販売数量は徐々に上向いてきております。



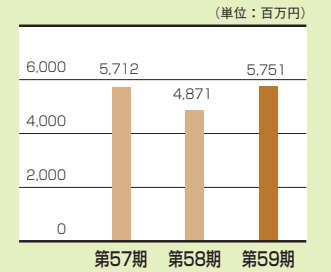
●湿気ケア（除湿剤）部門〈連結〉

湿気ケア（除湿剤）部門につきましては、使い捨て除湿剤の主力品「ドライペットスキット」や「備長炭ドライペット」が好調でしたが、「ドライペットスキット6個パック」を廃止した影響で、売上高は、25億82百万円（前期比0.4%減）と微減いたしました。一方、利益率は向上いたしました。



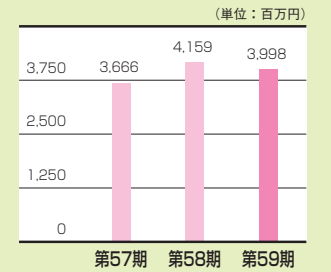
●サーモケア（カイロ）部門〈連結〉

サーモケア（カイロ）部門の売上高は、近年にない厳冬の影響もあり、57億51百万円（前期比18.1%増）と大幅に増加いたしました。



●ホームケア（その他）部門〈連結〉

ホームケア（その他）部門の売上高は39億98百万円（前期比3.9%減）となりました。当部門につきましては、自動食器洗い機専用洗剤「フィニッシュ」が売上好調の他、今冬の寒さや風邪の流行で「ネクスケアマスク」が実績を伸ばしましたが、その他の商品がやや低迷し、ホームケア全体では減収となりました。



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末 (平成18年3月31日)	前期末 (平成17年3月31日)
資産の部		
流動資産	23,605	22,784
現金及び預金	8,625	10,455
受取手形及び売掛金	4,552	4,888
有価証券	4,778	2,999
たな卸資産	4,823	3,768
繰延税金資産	370	352
その他	473	335
貸倒引当金	△ 18	△ 17
固定資産	14,299	14,174
有形固定資産	7,582	8,017
建物及び構築物	2,597	2,741
土地	3,267	3,403
その他	1,717	1,872
無形固定資産	414	224
投資その他の資産	6,302	5,932
投資有価証券	4,761	3,717
繰延税金資産	47	160
再評価に係る繰延税金資産	—	71
その他	1,517	2,008
貸倒引当金	△ 24	△ 24
資産合計	37,905	36,959
負債の部		
流動負債	7,973	7,909
支払手形及び買掛金	4,773	4,417
未払金	1,957	1,920
その他	1,241	1,572
固定負債	1,591	1,079
退職給付引当金	1,115	1,001
役員退職慰労引当金	95	77
再評価に係る繰延税金負債	380	—
負債合計	9,564	8,989
少数株主持分		
少数株主持分	480	520
資本の部		
資本金	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067
利益剰余金	15,174	14,890
土地再評価差額金	△ 548	△ 107
その他有価証券評価差額金	872	518
為替換算調整勘定	△ 296	△ 358
自己株式	△ 1,474	△ 1,627
資本合計	27,860	27,449
負債、少数株主持分及び資本合計	37,905	36,959

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	46,134	44,109
売上原価	26,109	24,481
販売費及び一般管理費	16,891	15,878
営業利益	3,132	3,748
営業外収益	549	561
営業外費用	1,042	1,048
経常利益	2,640	3,260
特別利益	49	14
特別損失	777	66
税金等調整前当期純利益	1,913	3,208
法人税、住民税及び事業税	1,083	1,282
法人税等調整額	△ 134	27
少数株主利益又は損失(△)	△ 23	74
当期純利益	987	1,823

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,954	2,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,230	△ 923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 571	△ 1,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 830	860
現金及び現金同等物期首残高	9,632	8,772
現金及び現金同等物期末残高	8,802	9,632

POINT

売上高は主力のエアケアと衣類ケア両部門の好調に加え、厳冬の影響でカイロが大きく売上を伸ばし、増収（前期比4.6%増）となりました。利益面では、コスト削減努力により原材料の値上がり分を吸収しましたが、市場競争激化に対応すべくエアケアを中心に広告宣伝費などのプロモーション費用を集中投下したことなどで営業利益が前期比16.4%減、経常利益が同19.0%減となりました。

POINT

当期純利益は9億87百万円（前期比45.8%減）となりましたが、これは当期より適用が義務付けられた固定資産の減損会計基準により7億2百万円の特別損失を計上したこと等によるものです。

●連結対象会社

連結子会社（国内4社／海外2社）
 エステートレーディング株式会社 スリーエム・エステー販売株式会社
 エステーオート株式会社 シャルダン（マレーシア）
 エステー・マイコール株式会社 シャルダン（フィリピン）
 エステービジネスサポート株式会社
 ファミリーグループ（タイ）
 ファミリーグループ（台湾）

●単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末 (平成18年3月31日)	前期末 (平成17年3月31日)
資産の部		
流動資産	20,920	20,655
現金及び預金	7,182	9,423
受取手形及び売掛金	4,184	4,469
有価証券	4,682	2,976
たな卸資産	4,088	3,111
繰延税金資産	310	274
その他	483	413
貸倒引当金	△ 11	△ 13
固定資産	14,451	14,152
有形固定資産	7,152	7,442
建物及び構築物	2,462	2,608
土地	3,054	3,068
その他	1,634	1,765
無形固定資産	408	218
投資その他の資産	6,890	6,491
投資有価証券	4,567	3,512
繰延税金資産	33	149
再評価に係る繰延税金資産	—	71
その他	2,313	2,782
貸倒引当金	△ 24	△ 24
資産合計	35,372	34,808
負債の部		
流動負債	7,488	7,480
支払手形	54	33
買掛金	4,626	4,271
未払金	1,924	1,889
その他	883	1,287
固定負債	1,549	1,042
退職給付引当金	1,072	965
役員退職慰労引当金	95	77
再評価に係る繰延税金負債	380	—
負債合計	9,037	8,523
資本の部		
資本金	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067
利益剰余金	13,351	13,367
土地再評価差額金	△ 548	△ 107
その他有価証券評価差額金	872	518
自己株式	△ 1,474	△ 1,627
資本合計	26,334	26,284
負債及び資本合計	35,372	34,808

●単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	前期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
売上高	44,331	42,396
売上原価	26,230	24,640
販売費及び一般管理費	15,995	14,906
営業利益	2,105	2,849
営業外収益	671	712
営業外費用	954	975
経常利益	1,822	2,586
特別利益	52	17
特別損失	623	64
税引前当期純利益	1,252	2,539
法人税、住民税及び事業税	716	956
法人税等調整額	△ 151	62
当期純利益	687	1,520
前期繰越利益	2,182	1,355
自己株式処分差損	36	63
土地再評価差額金取崩額	△ 6	0
中間配当額	316	287
当期末処分利益	2,510	2,525

●利益処分

（単位：円）

	金額
当期末処分利益	2,510,247,391
買換資産特別勘定積立金取崩額	678,329
計	2,510,925,720
これを次のとおり処分いたしました。	
利益配当金	317,112,334
(1株につき 11円)	
次期繰越利益	2,193,813,386

(注) 1. 当期の利益処分につきましては、平成18年5月12日開催の取締役会において決議されました。
 2. 平成17年12月9日に316,672,224円（1株につき11円）の中間配当を実施いたしました。
 3. 利益配当金は自己株式1,518,457株分を除いております。

トピックス

第60期を迎えて

本年4月、当社は第60期を迎えました。
無事に第60期を迎えられましたのも、ひとえに株主様を始めとするステークホルダーの皆様のご支援によるものと、心より感謝いたしております。
これを機に、初心に立ち返り、新鮮な気持ち、新しい発想でこれからも「世にないもの」を皆様の暮らしにご提供していきたいと考えております。



コンプライアンス経営

当社では、コンプライアンス（法令順守）経営の一環として、コーポレート・ガバナンス（企業統治）体制の強化を重要課題と捉え、当社とは利害関係を有しない中立的な立場にある社外取締役を過半数以上含む、透明性と公正性の高い経営体制を整えるべく、取締役会の構成を社外取締役4名、社内取締役3名としてまいりました。
そして、このたびの株主総会において、より一層の透明性と公正性を確保するため、社外取締役1名を増員することが承認決議されました。

買収防衛策について

近年、日本でもM&A活動が盛んに行われるようになり、昨年来、大手企業の経営権を巡る敵対的買収が連日マスコミを賑わせました。そのことがきっかけとなり、多くの上場企業が敵対的買収リスクへの対応策（買収防衛策）を講じるようになりました。
当社でも平成18年4月3日開催の取締役会において、買収防衛策について協議いたしました。
①株式を公開している以上、敵対的買収リスクは避けられない問題であると認識し、そのことを踏まえ、敵対的買収者に狙われないような経営を行うことが最高の買収防衛策であり、企業価値の向上に努めていくことによって、株主様を始めとするステークホルダーの皆様のご期待に応えていくべきである。
②企業価値を高めることができる経営者の選択は、本来株主様に判断していただくべきことである。
との認識で合意し、現時点ではいわゆる買収防衛策は導入しないことといたしました。

エステービジネスサポート株式会社設立

当社は、平成17年12月26日に100%出資の子会社「エステービジネスサポート株式会社」を設立し、平成18年4月1日より営業を開始いたしました。
これまで、当社内に「シェアードサービス」の部署を設け、グループ各社に共通する受注・物流・請求関連業務や事務業務を一括して行ってまいりましたが、このたび、販売先小売店に対する店舗フォローや販売代行などの業務と合わせ、それらをグループ各社から請け負う会社として独立いたしました。
業務の効率化によるコスト削減、ならびに店頭競争力の強化による売上拡大を目指し、また今後蓄積していく様々なノウハウに基づき、グループ全体の発展を支えてまいります。



海外事業への取り組み

平成17年秋より、当社アライアンス先の販売網を活用して米国へ「ドライペットスキット」と「脱臭炭」の供給を開始し、平成18年3月には米国大手の販売店ウォルマート、クローガーでの販売を開始いたしました。今後も展開店舗の拡大に努めてまいります。
一方、アジア地域では、平成17年より開始いたしましたフマキラーインドネシア（P.T. FUMAKILLA INDONESIA）社との提携による消臭ポット、マイシヤルダンの販売が順調に推移しております。今後も積極的に新製品の投入等を行ってまいります。
友好的で効果的な提携相手を模索し、今後も積極的に海外事業への取り組みを強化してまいります。



新製品紹介

置くタイプのエアウォッシュ トイレケア

～抗菌強化の新“においセンサーゼリー”で強力消臭～

- ◎“空気を洗う”コンセプトの「エアウォッシュ」ブランドから、家庭の中で消臭ニーズの高いトイレ用を発売。
- ◎新開発“においセンサーゼリー”が、硫化水素やアンモニアなどの悪臭原因成分や、壁や床などに付着した悪臭成分を捉えて消臭します。
- ◎抗菌を強化したゼリーの表面に、菌を含んだ空気が接触することで菌の活動を抑えます。
- ◎香りは「せっけん」、「さわやかフローラル」、「緑茶」の3種類（日本かおり研究所監修）。



キッチンの消臭力

～キッチンまわりのイヤなニオイを瞬間消臭～

- ◎植物消臭成分で、「ゴミ箱近く」や「排水口」などのキッチンまわりのイヤなニオイを瞬間消臭します。
- ◎除菌剤配合により、ニオイの元となる菌の活動を抑え、消臭効果を持続させます。
- ◎すっきりとしたボトルデザインで、置き場所を選びません。
- ◎香りは、緑茶成分配合の「緑茶の香り」とオレンジ成分配合の「オレンジの香り」の2種類（日本かおり研究所監修）。



光る消臭プラグ

～香りと光の調和によるワンランク上の満足感～

- ◎電子パワーで広い空間を消臭する「消臭プラグ」ブランドに、新機能商品を追加しました。
- ◎新開発“フルスクリーンライティングパネル”が、内蔵の高輝度LED（発光ダイオード）の光を効率よく広げ、ほんのりと優しい光が香りの効果と調和します。
- ◎香りは「さわやかなフローラルの香り」と「リラックスハーブの香り」の2種類（日本かおり研究所監修）。
- ◎“明暗切換えスイッチ”で、光の強さを2段階に調節できます。



脱臭炭クローゼット・押入れ用

～大空間のニオイを強力脱臭～

- ◎ゼリー状の炭（備長炭+活性炭）で脱臭し、炭が小さくなることで交換時期がわかる脱臭剤「脱臭炭」ブランドから、クローゼット・押入れ用を発売。
- ◎大容量・大面積でありながら邪魔にならず、大収納空間をしっかりと脱臭できる形状を採用。
- ◎汗臭の原因のアンモニアや酢酸、タバコ臭の原因物質であるアルデヒド類などのニオイを脱臭します。



CM紹介

●エアウォッシュ ブランド

～おいでよ！エアウォッシュアイランド～

世界一空気がきれいな架空の島「エアウォッシュアイランド」。ハワイで撮影したこの島を舞台に「美女」と「森三中」扮する妖精が「エアウォッシュ」のブランドを訴求します。どこか懐かしさを感じる、少し前のアイドルのような美女と歌、澄んだ空気感のある映像で、エアウォッシュのさわやかな世界を表現しました。



●消臭ポット

～「支店長ズ」再結成～

お客様からの熱烈なご要望にお応えして、平成16年に大反響を呼んだ「謎のおじさん達」による消臭ポットのCMを復活させました。実は、このおじさん達は当社の全国の支店長で結成された「支店長ズ」。平成18年復活版も謎だらけの設定になっています。男の子が女の子に。なぜか支店長ズの中に「森三中」がスーツを着て踊っている。たくさんの観客の前で支店長ズがコンサートを開催?!

謎が謎を呼ぶこのCMも、しかし、しっかりと「香りるるるる消臭ポット」のメッセージを伝えて売上アップに貢献しています。



●ムシューダ

～虫喰い穴に注意！～

とある結婚式場にて。出席者の男の背中にぽっかりと開いた虫喰い穴。それを見つけて指摘した彼の友人が、次の瞬間、虫喰い穴に何故か一気に吸い込まれてしまいます。花嫁さえも吸い込まれてしまいます。

このCMは「2005年度クリエイターオブザイヤー」に輝いた古川クリエイティブディレクターによる作品で、放映と同時に大反響を呼びました。

防虫剤シェア1位のムシューダは、その季節になるといろいろな形で皆様にお知らせします。「虫喰い穴にご注意ください」と。



●支店長ズがお届けする「消臭ポット」CMづくりの裏側

撮影日は全国の支店長が東京本社に揃う会議の前日に設定され、事前に配られた踊りの見本ビデオで練習を積んだ支店長ズのメンバーたちが満を持して本番に臨みました。

一方、エアウォッシュのCMに引き続き、消臭ポットのCMにも出演の森三中の皆さんは、撮影当日に社長の鈴木から「1日支店長」に急遽任命され、支店長ズたちに混じってぶるぶるダンスを披露してくれています。

朝9時から夜10時までの13時間にわたる撮影の末、できあがったCMです。真剣な表情の支店長ズと、その中で妙にとけ込んでいる森三中の皆さんをとくにご覧ください。



CSR活動

当社では、株主の皆様、顧客の皆様、地域の皆様を始めとする社会の皆様に対して、様々な形で企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)を果たしていきたいと考えております。

こころ洗うミュージカル「赤毛のアン」全国公演を開催

当社では、本年も夏休みの恒例イベントであるミュージカルキャンペーンを実施いたします。9年目の本年も、「こころ洗うミュージカル」として、ルーシー・モンゴメリー原作の「赤毛のアン」を全国8都市にて上演し、全国約18,000名の方をご招待いたします。

主人公のアン・シャーリー役は、昨年ミュージカル初挑戦ながら大変素晴らしい舞台を披露してくださった、歌手の華原朋美さんです。またマッシュウ役は、本年よりタレントの坂上二郎さんをお願いいたしました。芸能生活50周年を迎える坂上さんは、脳梗塞からの復帰後初めてのミュージカル出演で、強い意気込みで臨んでくださっています。

全国7カ所で行った共演者のオーディションには、1,500名近くのご応募をいただき、その中から93名を選出いたしました。

本年で「赤毛のアン」は4年連続の上演となりますが、60周年を記念して、東京公演は生のオーケストラ演奏を予定しております。

毎年違う新鮮な感動を皆様にお届けし、文化振興の一翼を担っていきたくと考えております。



工場周辺地域での「エリア優待セール」実施

当社の埼玉工場（埼玉県本庄市）と福島工場（福島県いわき市）では、毎年、地域住民の皆様とコミュニケーションを深めることを目的として、「エリア優待セール」を行っております。

本年も、パッケージデザインの変更や、販売シーズン終了により出荷できなくなった商品を、地域住民の皆様にお求めやすい価格で販売し、売上の一部を市の社会福祉協会へ寄付いたしました。

また、埼玉工場では消防署へも参加を呼びかけ、地域ぐるみで防災に対する意識を高める場を設けました。

今後も地域の一員として、周辺住民の皆様との交流を通じて地域の活性化を図ってまいります。



100組200名の株主様をミュージカルへご招待

株主優待品に同封いたしましたアンケートハガキにお答えいただいた方の中から抽選で100組200名の株主の皆様にて、平成18年8月全国8会場で行います「赤毛のアン」のミュージカル公演ご観覧ペアチケットをプレゼントさせていただきます。

★ミュージカルに関する情報はこちらをご覧ください。▶▶▶ 公式ホームページ <http://www.st-musical.com/>

会社の概要

(平成18年3月31日現在)

- **設立** 昭和23年8月31日
- **資本金** 7,065,500千円
- **従業員数** 474名(出向者を除き、パートタイマー・嘱託を含む)

事業所

(平成18年6月14日現在)

- **本社** 〒161-8540
東京都新宿区下落合1-4-10
TEL. 03-5906-0731 (代表)
- **支店** 札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、
大阪、広島、福岡
- **営業所** 横浜、金沢、高松
- **工場** 福島、埼玉、九州(福岡)
- **R&Dセンター** 東京

役員一覧

(平成18年6月14日現在)

取締役

取締役会議長 (指名委員)	鈴木 喬
取締役(社外) (指名委員・監査委員・報酬委員)	梶原 保
取締役(社外) (指名委員・監査委員)	多賀谷 恒八
取締役(社外) (指名委員・報酬委員)	野呂 正則
取締役(社外) (監査委員)	高後 元彦
取締役(社外) (監査委員)	小門 裕幸
取締役 (指名委員)	長沢 壽治
取締役 (報酬委員)	土橋 光男

執行役

代表執行役社長	鈴木 喬
常務執行役 人事担当・ エステービジネスサポート社長	長沢 壽治
常務執行役 コーポレートスタッフ部門担当・ 関連会社担当	土橋 光男
常務執行役 営業本部長	影浦 憲章
常務執行役 製造部門担当・ R&D部門担当	小林 寛三
執行役 エステー・マイコール機会長・ 機ジャパン・コーポレーション社長	峰 信碩
執行役 エステートレーディング株式会社	石川 通愼
執行役 大阪支店長	城ノ戸 真一
執行役 経営企画・宣伝・広報 各グループ担当・ 国際ビジネス担当	嶋田 洋秀

株式の状況

(平成18年3月31日現在)

●株式の総数

(ア) 発行する株式の総数	96,817,000株
(イ) 発行済株式の総数	30,346,851株
(ウ) 1単元の株式数	100株

●株主数

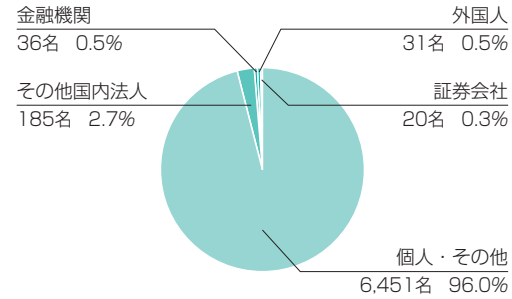
6,723名

●大株主

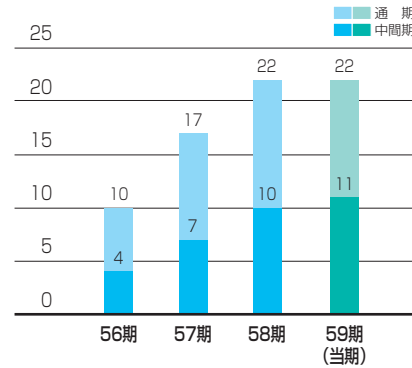
氏名又は名称	持株数	持株比率
株式会社 シャルダン	4,747 千株	15.6 %
株式会社 T・ZONE キャピタル	3,817	12.6
ベアスターズ アンド カンパニー	2,459	8.1
日本生命保険相互会社	1,671	5.5
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	884	2.9
鈴木 誠	882	2.9
有限会社 鈴木ファミリー	860	2.8
鈴木 喬	831	2.7
鈴木 明雄	785	2.6
株式会社 三菱東京UFJ銀行	681	2.2

(注) 1. 当社は自己株式1,518千株(5.0%)を有しております。
2. みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

●所有者別分布状況



●配当金の推移 (単位: 円)



株主優待品

平成18年3月期末の株主優待品として、基準日の3月31日時点で当社株式を100株以上1,000株未満保有されている株主様へ1,000円相当の、また1,000株以上保有されている株主様へ3,000円相当の当社製品詰め合わせをご送付させていただきます。なお、お届けは6月中旬を予定しております。



100株以上1,000株未満株主様向け



1,000株以上株主様向け

100株以上 1,000円相当当社製品詰め合わせ 年1回(基準日3月31日)
1,000株以上 3,000円相当当社製品詰め合わせ 年2回(基準日3月31日・9月30日)

株主メモ

証券コード 4951
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 剰余金の配当 剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 (郵便物送付先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
 (お問合せ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
 単元株式数 100株
 公告方法 日本経済新聞
 決算公告ホームページのご案内
 当社の決算公告は、日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ (<http://www.st-c.co.jp/ir/>) に掲載しておりますので、こちらでご覧いただけます。

当社IR情報について

当社ホームページでは、機関投資家や個人投資家の皆様に、当社の経営内容、将来展望、経営理念等をより深くご理解いただくためにIRのページを設けております。
 ご希望の方にはIRメールの配信サービスも行っております。

★当社のIRに関する情報はこちらでご覧いただけます。▶▶▶ 当社ホームページ「IR情報」<http://www.st-c.co.jp/ir/>